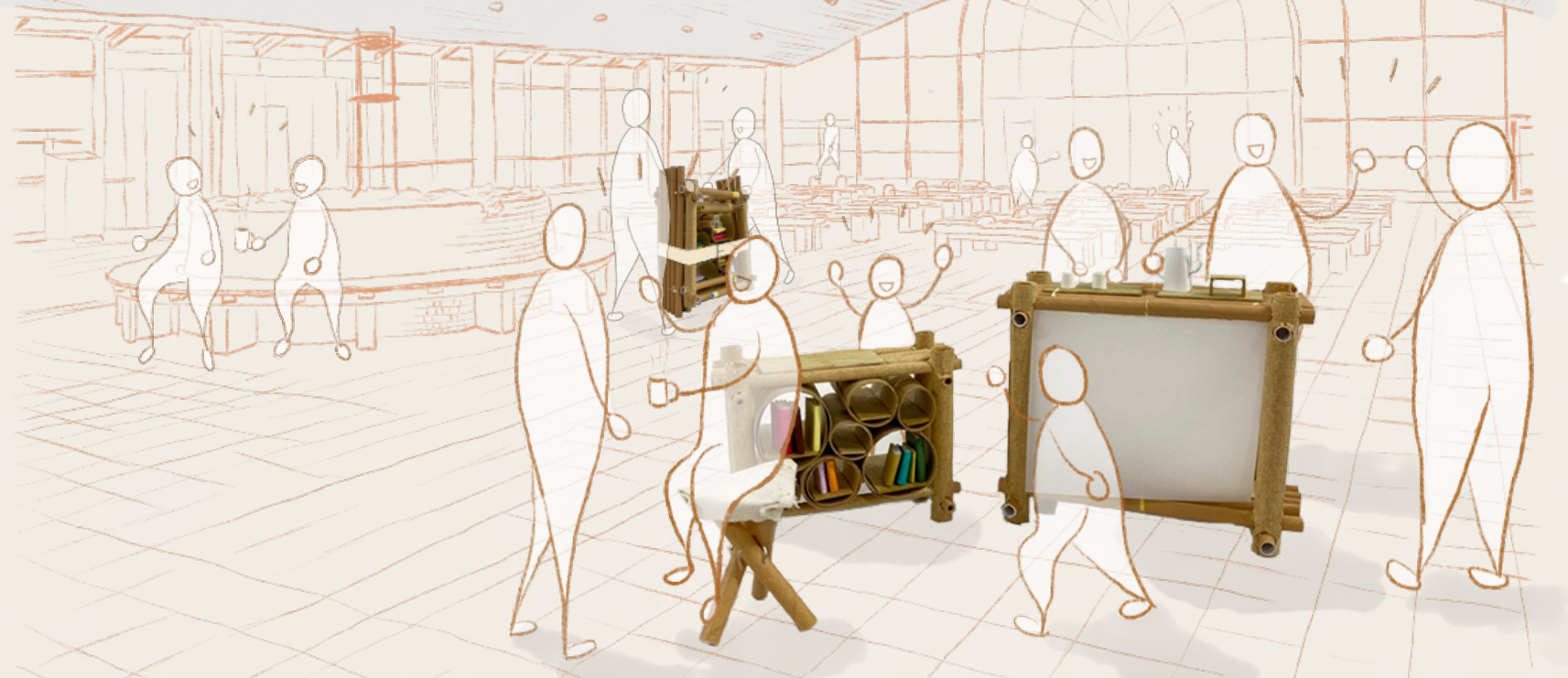


紙管で人々を弛緩させる。

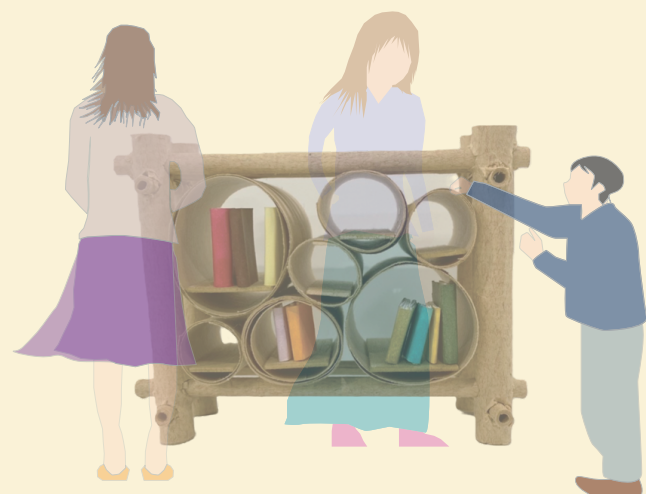
誰もが親しみのある紙でできた軽くて丈夫な紙管を骨組みとして利用することで、一つ一つのスタンドを自由に動かして、用途にあった空間をつくることができる。また、移動時は分解して、持ち運べるサイズに変換できる。



- 紙管とは**
- ・リサイクル可能で環境に優しい
 - ・軽量で取扱いが容易
 - ・衝撃に強く、復元力がある



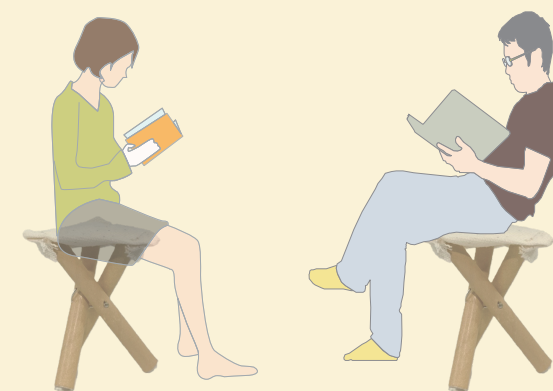
近年では紙管を用いた建築が海外で注目されており災害時の仮設建物にも活用されている。



人に魅せるデザインで場のきっかけをつくる



シンプルな分解と組み立て
破損した部分だけ取り替え可能

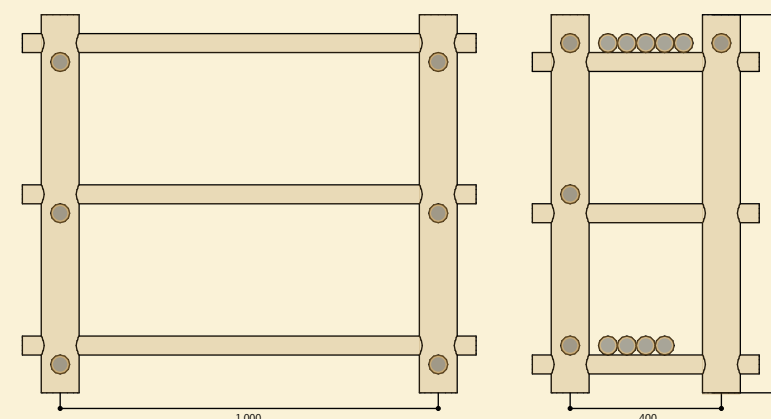


コンパクトな付属ツール

柏倉杏菜
村井麻里那
森本郁輝

メインスタンド

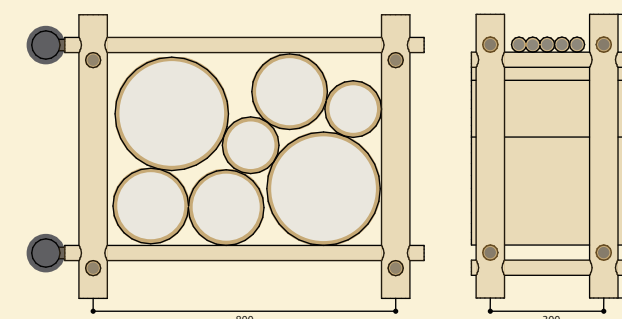
物や情報を交換するハブの役割を担い、行うイベントの空間の核となる。サブスタンドを中に収納することもできる。



紙管
Φ100mm×1000mm×4本
(中央で分解できるように)
Φ50mm×1200mm×14本
Φ50mm×600mm×4本
布
900mm×1000mm

サブスタンド

本や物品などをディスプレイしたり、収納したり、そのままキャスターを付け替えて動かしたり、メインスタンドとは別に場を展開するきっかけとなる。



紙管
Φ75mm×750mm×4本
Φ40mm×900mm×6本
Φ40mm×400mm×4本
Φ300mm×400mm×2本
Φ200mm×400mm×3本
Φ150mm×400mm×2本
キャスター
4つ
MDF材
400mm×150mm×2枚
400mm×100mm×3枚
400mm×75mm×2枚